

がん化学療法委員会

委員長 永松 敏子

がん化学療法委員会では、抗がん剤化学療法に関して、レジメン登録・管理、治療数・調剤数の動向調査、有害事象報告等を行っています。月に1回、委員会を開催し、新規レジメン登録承認、外来・入院化学療法における課題について、改善策を検討しています。

近年、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤等の出現により、レジメン数、治療数、調剤数ともに急速に増加しています。

有害事象も多様化、増加傾向にあります。薬剤部、看護部と連携し院内、院外に向けた情報発信、講演会、研修会、院外薬局との連携を行うことで、安心、安全に治療が受けられるように心がけています。

外来化学療法センター

